

1年／国語「どんなおはなしができるかな」

『単元の振り返り & 生成AIについて紹介』

Google Gemini, Canva

(前時までに教科書の絵からお話を作る活動をしてきた。)

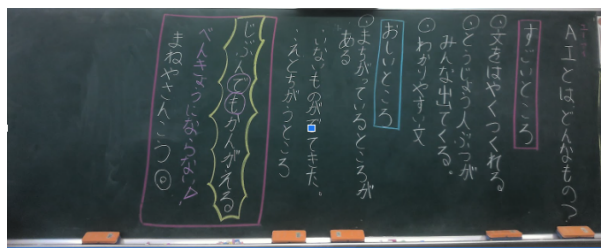
- ① AIもお話ができることを紹介する。
- ② Google Geminiに教科書の挿絵と「1年生が絵からお話をつくれます。例を作ってください。」と入力した。
- ③ お話の感想から、生成AIの「すごい」点について話し合う。
 - ・すぐ、お話ができているのがすごい！
 - ・3つもつくれるのすごい！
- ④ 「おいしい」点もあることに気づき、出し合う。
 - ・挿絵に載っていない動物もいるよ。
 - ・まちがっているところがある。
- ⑤ 生成AIの特徴を捉える。

「AIが作った文章そのまま使えそうかな？」

 - ・自分でも考えることが大切。
 - ・全部真似すると勉強にならない。

「自分が困った時に使うのはどうかな？」

 - ・参考にするのはいい！
 - ・少し真似くらいならいいと思う。
- ⑦ (AIは文以外に画像も作れることを紹介)



<取組のポイント>

- ・子どもがお話を作り終わったあとに紹介程度に行った。
- ・生成AIの導入としては有効だと感じた。
- ・教師から全て説明しなくても、AIの「すごい」点、「おいしい」点に子どもたち自身で気付くことができていた。

A 生成AI自体を学ぶ

B 使い方を学ぶ

C 各教科の学びにおいて積極的に用いる

情報収集

想像・発想

文書作成

データ処理

学習・問題解決支援

対話・コミュニケーション

1年／国語「たぬきの糸車」

『たぬきさんにお手紙の返事をもらおう』

Google Gemini

- ①単元の終末に、たぬきさんにお手紙を書くを設定した。
- ②書いた手紙の内容をAIたぬきくんに送る。
- ③お返事の内容を読み上げる。

<取組のポイント>

- ・紙媒体でお手紙を書いたので、教師の負担は大きかった。
- ・お返事が実際にすぐ来たことで、意欲が高まっていたため、相手意識の設定としては効果を感じられた。
- ・AIであるということに気づいている子も多かったが、楽しんで返事を聞いていた。

2年／国語「お手紙」

『登場人物から返事をもらう』

Google Gemini

- ①単元の最後に「登場人物にお手紙を書く」ことを目標に学習を進める。
- ②オクリンクプラスで子どもたちが、がまくんやかえるくんにお手紙を書く。
- ③教師がGeminiに「アーノルド・ローベルの「お手紙」のがまくんになりきって、2年生が分かるようにひらがなで返事をしてほしい」と伝え、子どもたちのお手紙を送信する。
- ④Geminiからのお返事をオクリンクプラスのカードに貼り付けて、一人ひとりに送る。

返事例①)〇〇さんへ

おてがみ、ありがとう！かえるだよ。ぼくががまくんにおてがみをあげたことを、「やさしい」って言ってくれて、うれしいよ。がまくんのかなしいかおをみるのが、つらかったからね。〇〇さんは、かなしい人がいたら「だいじょうぶ？」ってこえをかけるんだね。うん、それだけでも、その人はきっとうれしいとおもうよ。だって、しんばいしてくれているのがわかるからね。ぼくは、がまくんがあまりにもかなしいって言うから、とくべつなことをしてあげたかったんだ。だから、おてがみをかいたんだよ。でも、こえをかけるのは、とてもたいせつなやさしさだとおもうな。がまくんがよろこんでくれて、ぼくもほんとうによかったよ！〇〇さん、ありがとうね！かえるより（がまくんにも、いろはさんのやさしさのこと、つたえるね！）

返事例②)△△さんへ

おてがみ、ありがとう！カタツムリだよ。ぼくがとどけたおてがみのおかげで、がまくんがげんきをとりもどしたってきいて、ぼくもとってもうれしいよ！4日もかかってしまって、びっくりしたって？うん、ごめんね。ぼく、ゆっくりしかあるけないから、がんばってあるいたんだけど、それだけかかってしまったんだ。でも、がまくんのよろこんだかおをみられたから、よかった！またかつやくするのをきたいしてくれて、ありがとう！つぎも、たいせつなおてがみがあったら、まかせてね。ゆっくりだけど、たしかにとどけるよ！カタツムリより（とちゅうで、ちょっとおひるねもしたけどね！）

<取組のポイント>

- ・2年生なので、直接プロンプトを入力し、手紙を送るのは難しいと判断し、教師側で全て行った。
- ・児童側で操作する場合、①Gemを使用する、②音声入力を使用する、などが必要になる。どの方法でも、お手紙の内容が学習の評価につながるため、お手紙の内容を別で提出する必要がある。
- ・教師の負担は大きいですが、印刷などして返事がお手紙として自分のもとに届いたほうが「ワクワク」にはつながりそうだと感じた。
- ・返事が返って来たことで、手紙を書く意欲が高まった。
- ・最後に返事は生成AIが書いたということを経験したことで、生成AIの紹介にもなった。

2年／国語「みきのたからもの」

『登場人物「ナニヌネノン」の作成』

Adobe Express

(本単元前に画像作成の練習を「冬休みの思い出絵日記」で行った。)

- ①教科書を読むと、挿絵に「ナニヌネノン」が出てこないことに気づく。
- ②絵を書くのが難しいという思いから、AIでイメージに近い「ナニヌネノン」を作りたいという思いをもつ。
- ③「ナニヌネノン」を作成する。

(宇宙人、○色、アニメ、かわいい、小さい、公園などのプロンプトを入れていた。)



<取組のポイント>

- ・冬休みの思い出絵日記で練習したことで、プロンプトの入れ方がスムーズだった。
- ・絵で書くことが苦手な子にとって、効果的だった。
- ・登場人物のイメージが広がり、物語が想像しやすくなった。
- ・自分のイメージが明確になったことで、宇宙人関連の謎について、深掘りせずによくなった。
- ・Canvaよりプロンプトの追加、変更が簡単だったので、Adobeを使用した。

3年／国語「こんな係がクラスにほしい」

『係活動のアイデアを、生成AIから得る』

Google Gemini

①新しい係のアイデアについてGeminiに質問する。

②集めたアイデアをグループで検討する。

③学級全体で交流する。

④フォームで振り返りを行う。

係名	どんな活動をする？	みんなが楽しいポイント
笑い（お笑い）係	朝の会や帰りの会などで、モノマネや面白い話、ダジャレなどを披露してクラスを笑わせませす。	クラスに笑いがあふれ、明るい雰囲気になります。人を笑わせるのが好きな子にぴったり！
飾り付け（デコレーション）係	季節や行事に合わせて、教室の壁や掲示物を可愛く、またはかっこよく飾り付けます。	教室が華やかになり、毎日学校に来るのが楽しみになります。絵や工作が好きな子におすすめです。
プチ先生（教え合い）係	宿題や授業で困っている子がいたら、優しく教えに行きます（先生の許可を得て）。簡単なクイズ大会を開くのも良いでしょう。	困っている子が助けられ、みんなの学習意欲が高まります。教えることで自分自身の理解も深まります。
いきもの（飼育・観察）係	学校で飼っている生き物のお世話をしたり、校庭や公園の草花や昆虫を観察してクラスに発表します。	生き物や自然に詳しくなれます。新しい発見をみんなに伝えるのは楽しいです。
BGM係	給食の時間などに、クラスみんなで決めた音楽（ヒーリング系や楽しい曲）を流して、和やかな雰囲気を作ります。	いつもの給食やお掃除の時間が、より心地よく、楽しくなります。

<取組のポイント>

- ・円滑に話し合いをスタートするため（アイデアが浮かばない子のため）に活用した。
- ・やりとりが上手くいかなかった場合は、誤字や打ち間違い、文章に間違いがある可能性があるため、プロンプトを見直す必要がある。
- ・活動の実現が難しい係や、既出の係なども出してくる場合があるため、実態に合わせて何度もやりとりを繰り返す必要がある。
- ・子どもたちと使い方を確認しながら活動を進めた。

A 生成AI自体を学ぶ

B 使い方を学ぶ

C 各教科の学びにおいて積極的に用いる

情報収集

想像・発想

文書作成

データ処理

学習・問題解決支援

対話・コミュニケーション

3年／余裕時数でAI

『生成AIとの対話練習』

Google Gemini

- ①Google Geminiに、「朝ごはんのメニューを考えて」と質問する。
- ②返ってきた答えを基に、やりとりを繰り返し、『理想の朝ごはん』を決める。
- ③どのようなやりとりが必要だったか確認する。

<取組のポイント>

- ・『理想の朝ごはん』のアイデアを得るためには、食材や味の好み、手軽さなど、Geminiに希望をいくつか伝える必要がある。初めの質問だけでは答えに辿り着けないので、やりとりを何度か繰り返すことの重要性について指導した。
- ・低学年なら、教師が見本を見せてから取り組むとイメージが掴みやすくて良いと感じた。

A 生成AI自体を学ぶ

B 使い方を学ぶ

C 各教科の学びにおいて積極的に用いる

情報収集

想像・発想

文書作成

データ処理

学習・問題解決支援

対話・コミュニケーション

3年／総合「山鼻案内人」

『発表原稿のたたき台を作って練り上げる』

Google Gemini

- ①調べ学習、施設見学をもとに発表スライドを作る。
- ②スライドに合わせて、自作の発表原稿を作成する。
- ③教師作成のプロンプトを、自分の発表する施設に合うように変えてGeminiに送信する。
- ④自作の発表原稿とGemini作成の発表原稿を見比べ、生成AIの使い方について考える。
- ⑤自作の原稿、あるいはGeminiで作成された原稿をたたき台として、修正・加筆したり、更に指示を追加したりして練り上げていく。

<取組のポイント>

- ・原稿を書けない子への学習サポートを目的として活用した。
- ・書くのが得意な子も、生成AIの作成した原稿からヒントを得てよりよい原稿作りに役立てることができていた。
- ・生成AIの原稿はそのままでは使えず、文章を直したり付け加えたりする必要があることに気付けるような活動（④）が必要だった。
- ・生成AIはインターネットの情報や予測から原稿を書いているのに対し、子どもたちは見学の中で実際に見たり聞いたりしている。その温度感がなくなならないように、自分の感じたことや思いを必ず入れるよう指導が必要だった。

A 生成AI自体を学ぶ

B 使い方を学ぶ

C 各教科の学びにおいて積極的に用いる

情報収集

想像・発想

文書作成

データ処理

学習・問題解決支援

対話・コミュニケーション

3年／総合「山鼻案内人」

『出来上がった発表原稿の文章を校正する』

Google Gemini

- ① 発表原稿を完成させる。
- ② 自分の担当した部分の文章を、Geminiに送信して誤字や文章の間違い等がないか確認する。
- ③ 指摘された部分を書き直す。

<取組のポイント>

- ・生成AIは、文章校正で強みを発揮できると聞いて取り組んでみた。文字の打ち間違いや意味の伝わらない文を指摘してくれるだけでなく、書いた情報が間違えていないかのチェックも行ってくれた。
- ・人間が気付かない細かなミスに気付けるのは、機械の強みだということを子どもたちと認識できた。
- ・教師が30人分をチェックするよりも、大幅に時間の削減になったことが有効だと感じた。

3年／国語「気持ちをこめて、「来てください」

『季節のあいさつのヒントを得る』

Google Gemini

- ①手紙の書き方について知る。
- ②季節のあいさつは、どのような言葉を使うとよいかGeminiに質問する。
- ③使いたい言葉や言い回しが出てくるまで、プロンプトを変えて質問する。
- ④Geminiから得たヒントを基に、季節のあいさつを書く。

きせつのあいさつをおしえてください。

◆ 承知いたしました。季節の挨拶について、手紙やメールの書き出しで使える時候の挨拶と、結びの言葉の例をいくつかご紹介します。

1月：睦月（むつき）

書き出しの例

- ・ 新春の候、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。
- ・ 初春とはいえ、まだ厳しい寒さが続いております。

Gemini へのプロンプトを入力

+ ガイド付き学習 Deep Research 画像 Canvas

小学生向けで、9月後半のあいさつが知りたいです。

◆ 承知いたしました。小学生向けに、9月後半の季節の挨拶をいくつかご紹介します。

手紙やスピーチの書き出しに使える挨拶

- ・ 「秋風が少しずつ涼しくなってきて、夜には虫の声が聞こえるようになりました。」
- ・ 「夏の暑さも終わり、空が高く感じるようになりました。もうすぐ運動会ですね！」
- ・ 「きんもくせいのお香りがする季節になりましたね。」
- ・ 「コスモスがきれいに咲いています。秋らしくなってきましたね。」
- ・ 「朝晩は涼しくなってきましたけど、昼間はまだまだ暑いですね。」

Gemini へのプロンプトを入力

+ ガイド付き学習 Deep Research 画像 Canvas

<取組のポイント>

- ・ 「季節のあいさつを教えてください」と質問すると、1～12月までの、難しい挨拶がたくさん出てくる。そこで、「小学生向け」「9月の後半」など、プロンプトに入れるとよい言葉を考えていくことができた。
- ・ 季節のあいさつは自力で考えることが難しく、教科書や教師の例だけでは同じような表現に偏ってしまうと思い活用してみた。子どもたちなりに、相手に合う表現や自分好みの表現であいさつを書くことができ、満足感につながった。

情報収集

想像・発想

文書作成

データ処理

学習・問題解決支援

対話・コミュニケーション

3年／国語、社会、総合など

『調べ学習で、インターネット代わりに使う』

Google Gemini

①調べたい内容をGeminiに送信する。

②送られてきた内容によって、プロンプトを変えたり、追加したりする。

〈インターネット〉

「みそ 作り方」で検索した場合の例

作り方



〈Gemini〉

「みその作り方を小学生向けに教えて」と聞いた場合の例

みそは、大豆をへんしんさせて作る、おいしい日本のちょうみりょうですね。小学生のみなさんにも分かりやすいように、そのじゅんばんをせつめいしますね！

👉 大豆がみそになるまでのじゅんばん

1. 大豆をふくらませる(水につける)💧

まず、大豆を大きなたらいなどにいれて、たっぷり水につけます。こうすることで、かたい大豆が水をすいこんで、ふっくらとやわらかくなります。人間がおふろに入るのににっていますね！

⋮

このじゅんばんをへて、みんなが知っているおいしいみそができあがります！

〈取組のポイント〉

- ・3年生だと、インターネットでの調べ学習が難しい（漢字が読めない、意味が分からない等）ため、生成AIを活用した。要望を正しく打ち込めば、それに応じて情報を提供してくれるため大変便利だった。子どもたちも進んで活用するようになってきた。
- ・インターネットも同じだが、情報が正しいか確かめる必要がある。3年生にはそれも難しいこともあるので、教員がチェックを行う必要があった。

情報収集

想像・発想

文書作成

データ処理

学習・問題解決支援

対話・コミュニケーション

3年／国語「たから島のぼうけん」

『生成AIの力を借りて、物語のアイデアを考える』

Gem

- ① たから島の地図から物語のアイデアを出し合う。
- ② 生成AIにアイデアを聞いてみる。(教師が使用)
- ③ 生成AI活用のルールを確認する。
- ④ 「物語のアイデアGem」を使用する。
- ⑤ 集まったアイデアから、使いたいものを決める。
- ⑥ 振り返りをする。

物語のアイデアGem・カスタム Gem

新しいアイデアがほしいだね！

たから島の地図の中で、どの部分を使ってみたいかな？「ワニ」「ピラミッド」「火山」など、使いたいものを教えてね。

🔗 🔄 🗑️ 📄 ⋮

物語のアイデアGem・カスタム Gem

分析 ▼

こんにちは！「たから島のぼうけん」の物語作りをお手伝いするよ。

君がどんなふうにお話を作りたいか、教えてね。

1. 「新しいアイデアがほしい」
2. 「自分のアイデアから考えたい」

どちらか選んで数字で答えてね。

Gemini へのプロンプトを入力

+ ツール

高速モード ▼



Gemini へのプロンプトを入力

+ ツール

高速モード ▼



<取組のポイント>

- ・アイデアが浮かばない子が学習の土台に乗れるようにするため、またアイデアをもっている子が考えを広げられるようにするためにGemを使用した。
- ・Gemへの指示は、①使用者の目的に応じて、アイデアを提案すること、②ヒントを与えすぎないようにすること、③3年生に適した説明、漢字を使用することを指示した。
- ・生成AI活用のルールを確認する場面では、Geminiパスポートの「たよりすぎない！自分で考えよう」から、あくまで支援ツールとしての活用であることを意識できるようにした。

A 生成AI自体を学ぶ

B 使い方を学ぶ

C 各教科の学びにおいて積極的に用いる

情報収集

想像・発想

文書作成

データ処理

学習・問題解決支援

対話・コミュニケーション

3年／国語「たから島のぼうけん」

『新たな語句を得て、物語の中で活用する』

Gem

①教師作成の文章を修正する活動から、より伝わる表現に目を向ける。

②生成AIを教師が見本で使用し、使い方を確認する。

③Gemを使用し、表現についてのアイデアをもらう。

④もらったアイデアが、自分の思い浮かべた様子に合うか確かめる。

⑤もらったアイデアを交流する。

⑥自分の物語を手直しする。

⑦振り返りをする。

物語作成の言葉のアイデア

① ゆなの行動を表す言葉のチェック 「いつも注意深く行動するゆな」という表現についてです。「注意深く」は、よく考えてから動くゆなの性格がよく伝わる言葉で、とても適切です。

👤

・ 別の候補：「ようじん深いゆな」にすると、もっと「あぶないことがないか、気をつけている」という感じが出ます。

② 地図を見つけた時の様子のアイデア 「道に古い地図が落ちていました」の部分に、修飾語を加えてみませんか。見つけた時の二人の気持ちがより伝わります。

👤

・ 候補：「思いがけないところに、古い地図が落ちていました。」

・ 候補：「めずらしい古い地図が、道に落ちていました。」

③ ワニの口をしばった時の様子のアイデア 「わにの口をぐるぐるとしばりました」の部分に、

Gemini へのプロンプトを入力

+

🛠 ツール

高速モード

↓

➡

<取組のポイント>

- ・ Gemへの指示は、①修飾語の候補を与えること、②修飾語の候補は言葉のたからばこを参考にすること、③候補は1度に3つまで与えること、④3年生に適した説明、漢字を使うことを指示した。
- ・ もらったアイデアについて、安易に受け入れることを防ぐため、初めて聞く言葉については意味を調べ、物語に合うかどうかを吟味する必要があることを伝えた。
- ・ Gemを使用することで自分の物語に合った表現を獲得できるため、新たな語句の活用へとスムーズにつなげることができた。

特別支援学級 3-5 学年 / 学活「あいさつ運動」

『あいさつ運動のアイデアを生成AIから得る』

みんなで生成AI

① あいさつ運動のアイデアをみんなで生成AIに質問する。

② 集めたアイデアを全体交流する。

③ それぞれ違う回答が得られたことを知る。

④ 自分たちに実施可能な活動、実施方法を考える。

小学校で挨拶運動します どんな取り組みがあるか教えてください

2025/11/5 4:52:11

小学校での挨拶運動は、子どもたちのコミュニケーション能力や社会性を育てるために非常に重要です。以下に、いくつかの取り組みを紹介します。

1. 挨拶運動の時間を設ける

- 毎朝、校門前で先生や生徒が集まり、元気な挨拶を交わす時間を設ける。

2. 挨拶の標語作り

- 生徒たちと一緒に挨拶の重要性を伝える標語を考え、掲示物として学校内に掲示する。

3. 挨拶カードの作成

- 生徒が自分で挨拶カードを作成し、友達や先生に渡す活動を行う。

3. 挨拶カードの作成

- 生徒が自分で挨拶カードを作成し、友達や先生に渡す活動を行う。これにより挨拶の楽しさを感じられる。

4. 挨拶運動のリーダーを決める

- 各クラスから挨拶運動のリーダーを選び、そのリーダーがクラスメートに挨拶を促す役割を持つ。

5. 「挨拶デー」の設定

- 特定の日を「挨拶デー」と定めて、全校生徒が挨拶を特に意識するようになる。

6. マスコットキャラクターの導入

- 挨拶を促すためのマスコットキャラクターを作り、挨拶運動を楽しくする。キャラクターを使ったポスターやイベントを開催。

7. 挨拶の表彰制度

小学校で挨拶運動します どんな取り組みがあるか教えてください

2025/11/5 4:52:11

小学校での挨拶運動は、子どもたちのコミュニケーション能力や社会性を育てるために非常に重要です。以下に、いくつかの取り組みを紹介します。

1. 挨拶運動の時間を設ける

- 毎朝、校門前で先生や生徒が集まり、元気な挨拶を交わす時間を設ける。

2. 挨拶の標語作り

- 生徒たちと一緒に挨拶の重要性を伝える標語を考え、掲示物として学校内に掲示する。

3. 挨拶カードの作成

- 生徒が自分で挨拶カードを作成し、友達や先生に渡す活動を行う。

<取組のポイント>

- 子どもたちと生成AIの使い方を確認しながら活用した。
- 「魅力的であるが、実現の難しい内容」も回答に含まれていたことで、あいさつ運動の目的を話し合ったり、「自分たちにできそうな活動」を考えたりするきっかけとなった。

4年／総合的な学習の時間「防災マイスターになろう」

『学習計画を立てる』

みんなで生成AI

①生成AIに質問をしてこれからの学習計画を立てる。

プロンプト「私は、札幌市中央区山鼻地区に住む小学4年生です。総合的な学習の時間に〇〇防災マイスターになるために課題を設定し、情報収集、整理分析したことをまとめる学習を行います。そのためにどのような学習をするとよいか教えてください。」

②生成AIからの回答を見て、自分自身で選択し、どのような学習をしていくか計画を立てる。

私は、札幌市中央区山鼻地区に住む小学4年生です。総合的な学習の時間に雪害マイスターになるために課題を設定し、情報収集、整理分析したことをまとめる学習をします。そのためにどのような学習をするとよいか教えてください。

2025/10/9 4:59:31

雪害マイスターになるための学習はとても素晴らしい取り組みですね！以下に、札幌市の雪害についての学習を進めるためのステップとアイデアをまとめました。

1. 課題の設定

- テーマを決める: 例えば、「雪害の影響」「雪の除去方法」「雪害から身を守る方法」など。
- 具体的な質問を考える: 例として、「雪が多い地域での生活はどうなっているのか?」や「雪害を減らすためには何が必要か?」など。

2. 情報収集

この中で最初にすればいいことを教えて～

2025/10/10 1:45:06

最初に行うべきことは、**基礎知識の理解**です。このステップは非常に重要で、気象についての理解を深めるための土台となります。具体的には以下のようなアクティビティを行うと良いでしょう。

最初にするべきこと

1. 気象の基本用語を学ぶ

- 気温、湿度、風速、降水量などの基本的な用語を調べ、意味を理解する。
- 小学生向けの気象に関する本やウェブサイトを探して、気象の世界を知る。

2. 気象現象について調べる

<取組のポイント>

- 生成AIの回答を鵜呑みにするのではなく、防災マイスターとしてどのような情報を伝えたいか考えながら、AIの回答を取捨選択していくように伝えた。
- ゴール（お家の人に伝える）を明確にし、総合的な学習の時間の学習サイクルに沿って学習計画を立てた。
- AIの回答がわからないときは、さらに質問するように促した。

A 生成AI自体を学ぶ

B 使い方を学ぶ

C 各教科の学びにおいて積極的に用いる

情報収集

想像・発想

文書作成

データ処理

学習・問題解決支援

対話・コミュニケーション

6年／国語「やまなし」

『一緒に考えてくれる伴走者』

Google Gemini

- ①やまなしの「分からなさ」を共有した上で、やまなしを読んだ気付きなどから詳しく読んでいくポイントを確認する。
(今回だと題名・人物・作者・表現の4点)
- ②選んだポイントから好きなように読み深めていく。その際の伴走者としてGeminiを利用する。(直接的な答えではなく、考える際のヒントを出してくれるように設定した。)
- ③その時間に読んだ視点について、理解度バーを用いてどのくらい理解できたかを振り返る。

<取組のポイント>

- ・苦手な子も土台にのって考えることができた。
- ・Geminiの回答をもとに、友達と議論を展開し、深めている子もいた。

A 生成AI自体を学ぶ

B 使い方を学ぶ

C 各教科の学びにおいて積極的に用いる

情報収集

想像・発想

文書作成

データ処理

学習・問題解決支援

対話・コミュニケーション

6年／国語「今年の漢字、来年の漢字」

『よき相談相手』

Google Gemini

- ①自分にとってぴったりの「今年の漢字」と「来年の漢字」を考える。
- ②まとまっていない子どもに向け、Geminiを相談相手として使う提案する。
(生成AIを使うかどうかは、自身で判断するように促した。)
- ③生成AIを使う手順を説明する。バッドモデルを紹介し、プロンプトの重要性を理解。
- ④友達と相談したり、保護者に相談しながら、「質問の仕方」を工夫する。
- ⑤質問の仕方を共有。ふさわしい漢字を見つける。

<取組のポイント>

- ・生成AIを使うかどうかは、子どもたちの判断に任せた。
- ・生成AIからよい考えをもらうためには、「よい質問（プロンプト）」が必要であることへの理解を図った。
- ・誰かと相談しながら生成AIを使用できるように、参観日に授業を設定した。